



# 道

2020年8月1日  
(第60号)

二階の兄の部屋で長く眠っていたデカイ重いスピーカーを、「屈強」の男性二人の助けを得て一階に下した。やはり使われていなかった埃まみれのステレオアンプとカセットデッキに繋いでみたら、なんと、音が出た。腹に響く、優しい音。▼アナログ見直しの風潮とか。昔のカセットテープを押し入れから出して聞いている。忘れ去られていたテープであるが、以前は何度も聞いたのだ。その音の中に古い時代が詰まっていた。当時が思い出され、懐かしい。いろんな顔や情景などが浮かんでくる。胸が痛みもする。▼「星野香」。僕が学生結婚した相手。カセットから彼女の影が現れ出た。僕の「青春」の真ん中にいた人だ。「香」以外の女性は考えられなかった。職場の上司から借り受けた流行りのジャズレコードを、彼女の傍らでせつせとテープに録音した。膝の上には幼子がいいた。今、そのテープが回っている。彼女は心の中にしかない。会うことも謝ることもできない。▼同年代の男女を見て歳とったなあと感じる一方、自分だけは若いつもりでいた。そんな筈はないのだ。兄が、妹が、親しい友が、それぞれ、「癌」治療を受けている。それを見守る僕が、いつ、立場が逆転するかも知れず。痛い腰を摩り、硬くなった体を伸ばして、「たそがれを抱きしめて」(注)生きていくのだ。

(注) 高橋源一郎+辻信一『弱さの思想』

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林 道 也



遠田 椋の木